

# こ きゅう しょう が い 呼吸障害へ

NIV

## ひ しん しゅう て き じん こう かん き 非侵襲的人工換気 (non-invasive ventilation, NIV)

自身で付け外しできるマスク型の人工呼吸器です。**息を吸ったタイミングで、機械が空気を入れるため、深く呼吸ができます。**夜寝る時につけることが一般的ですが、日中つけることもあります。痰や唾液が多い時、喉の力が落ちている時は、窒息のリスクがあるため使用できないことがあります。



■ マスク型人工呼吸器を付けて眠る様子

TIV

## き かん せつ かい か じん こう かん き 気管切開下人工換気 (tracheostomy invasive ventilation, TIV)

喉に穴を開けて、人工呼吸器をつなぐ状態です。**機械が呼吸をサポートし、痰の吸引も簡単になるために症状が緩和されます。**ALS患者さんの生存期間を約6.7年延長します。<sup>\*1</sup>一方で、会話ができなくなり、TIV後も全身の症状が進むとコミュニケーションが難しくなること、希望時に呼吸器を外せないことが問題となります。



■ 喉へ人工呼吸器を付けて日常を過ごす様子

酸

## さん そ りょう ほう 酸素療法

神経難病では、肺を広げて酸素を取り込み、肺を縮めて二酸化炭素を出すことがうまくできません。そのため、酸素を吸うだけでは効果が少ないばかりか、二酸化炭素が体に貯まり呼吸が停止する恐れがあり、通常では提案されません。ただし**人工呼吸器を希望されない場合に症状を和らげる目的で使用することがあります。**